

# 事業化へ資源重点配分

## 日本経済の成長力高める

日本経済の成長力を高める手段として、政府は革新的な技術やアイデアを生み出して事業化につなげるイノベーション活動を重視している。2013年にまとめた成長戦略「日本再興戦略」や6月に打ち出した同戦略の改定版でも、イノベーション実現への取り組みに、資源を重点配分する考えを示した。ロボット技術の応用による産業革命の推進、再生医療をはじめとする革新的な医療技術の開発など重要施策が目白押しだ。

### 要となる「ロボ・医療」

政府が成長戦略改定版で、イノベーションの核として成長分野の筆頭格に挙げたのが、ロボット産業。ロボットはそれを導入した企業に、新たなイノベーションをもたらす可能性を秘めている。特にこれまで導入が遅れていた中小製造業やサービス産業にとって、生産年齢人口の減少に伴う人手不足や低生産性など、成長を阻む課題を解決する突破口となり得る。さらにはこうした課題を解決する先進技術として、海外展開も見込める。成長戦略改定版では、製造現場への普及を後押しすることで、製造業における労働生産性の年間1%以上の向上を目指す。上昇率を、足元の1%から20年までに2%超へ引き上げる方針を表明。ロボットそのものの国内市場も製造業向けで2倍、非製造業向けで20倍に拡大させる目標を掲げた。実行に向けて政府は安倍首相が主宰する有識者会議「ロボット革命実現会議」を設置し、具体的な戦略の検討を始めた。メンバーには野間史有三菱電機相談役や池田彦ホンダ会長、高橋保一H.I.社長、野路国夫コマツ会長、津田純嗣安川電機代表取締役社長ら関係業界の代表を起用。介護・福祉や農業、防災・インフラなど分野ごとに関係企業と需要家

### ロボットに関連する15年度政府予算の概算要求の主な項目

- 【モノづくり・サービス業分野】  
ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト  
経産省、15億円  
ロボットの活用に関するユーザーニーズ、市場化の出口を明確にし、特化すべき機能の選択と集中に向けた技術開発を実施。併せて開発人材を育成。
- 【介護・医療分野】  
ICTを活用した自立行動支援システムの研究開発  
総務省、5億円  
車いすなどがネットワークに接続することで、屋外でも自立的かつ安全・安心に移動できる支援システムの研究開発を推進。
- 【農林水産業・食品産業分野】  
農林水産業におけるロボット革命の実現に向けた導入実証事業  
農林水産省、22億3000万円  
実用化・量産化の手前で足踏みしているロボット技術をまとめた規模・地区で導入するのを支援し、生産性向上などの効果を実証。技術体系の確立や低コスト化、安全性の確保など実用化・量産化への課題を解決。標準化すべき規格や安全性確保のためのルールづくりを支援。
- 【防災・インフラ分野】  
次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入の推進  
国土交通省、3億9000万円  
社会インフラの老朽化、大規模地震や豪雨などの災害に効果的・効率的に対応するため、産学官の協同体制で実際の作業を想定した現場検証・評価を行い、より実用性の高いロボットの開発・改良を推進。

## ロボで新産業革命 革新的医療の実用化加速

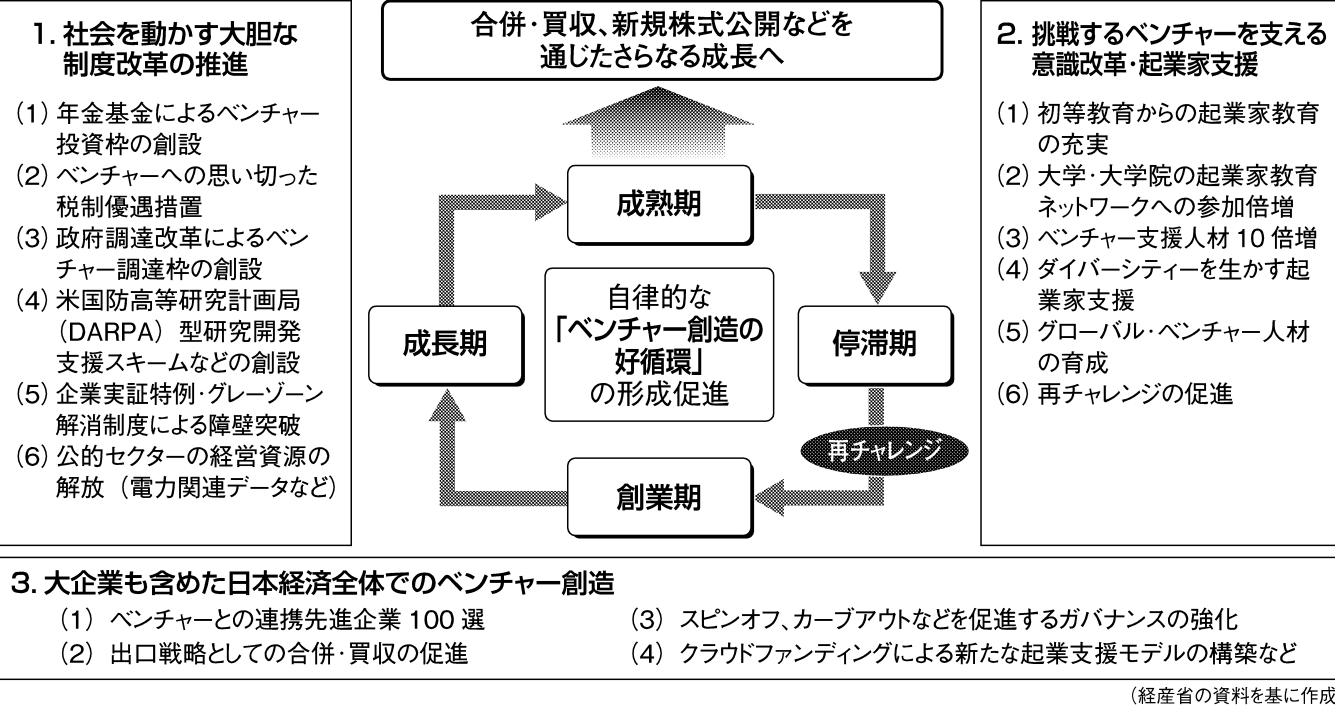


双腕型産業用ロボットを導入したグロリー埼玉工場の生産ラインを視察する安倍首相(埼玉県加須市、代表撮影)

ロボットと同じく成長が期待される医療分野でも、政府全体の研究開発の総合力を高め、革新的な技術やアイデアがあふくよう、実用化・事業化までの道のりは険しい。大企業に比べて経営資源が乏しい中小・小規模事業者ならなおさらだ。こうしたため政府は15年度から、中小企業などに対し、製品開発から事業化までを一貫して支援する産業技術総合研究所の橋渡し機能強化を図る。

3 10年先の産業界のニーズを予測する専門部署を新設し、産業界にとって魅力的な研究を増やすことで企業からの受託を拡大。さらに研究成果に関する数値目標を設定し、良い緊張関係の中で事業化を加速させる。

### ベンチャー創造の好循環の実現



### VBの育成

イノベーションの担い手として期待が高まるベンチャー企業の創出・育成にも力を入れる。経産省はベンチャー企業と大企業の出会いを橋渡しする「ベンチャー創造協議会」を先ごろ設置。主に大企業側が新規事業のアイデアや、その具体化に必要な技術・ノウハウについてのノウハウを、独自の技術などを売り込みたいベンチャーとの連携を目指す。



START事業で大学発VB設立を予定する大阪市立大・辻本浩章教授と一円玉大の電力センサー

### 経産省「創造協議会」を設置 文科省「大学発」創出が順調

文科省は大学発ベンチャー支援で、従来と一線を画す取り組みを進めている。特に成果を上げつつあるのが、12年度から進めている大学発新産業(区)を設立した。

文科省は大学発ベンチャー支援で、従来と一線を画す取り組みを進めている。特に成果を上げつつあるのが、12年度から進めている大学発新産業(区)を設立した。

文科省は大学発ベンチャー支援で、従来と一線を画す取り組みを進めている。特に成果を上げつつあるのが、12年度から進めている大学発新産業(区)を設立した。

## 環境商品のご紹介

## SAKURAI ECORTH®のルーフシリーズ

車両のルーフ&建物の折板屋根・ビル・マンション・工場の屋上用

SAKURAI ECORTH / サクライエコースは当社の「環境・省エネルギー」対応商品の総称です。

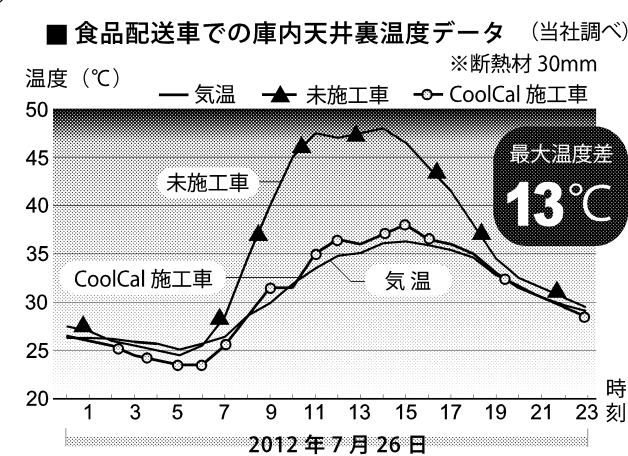
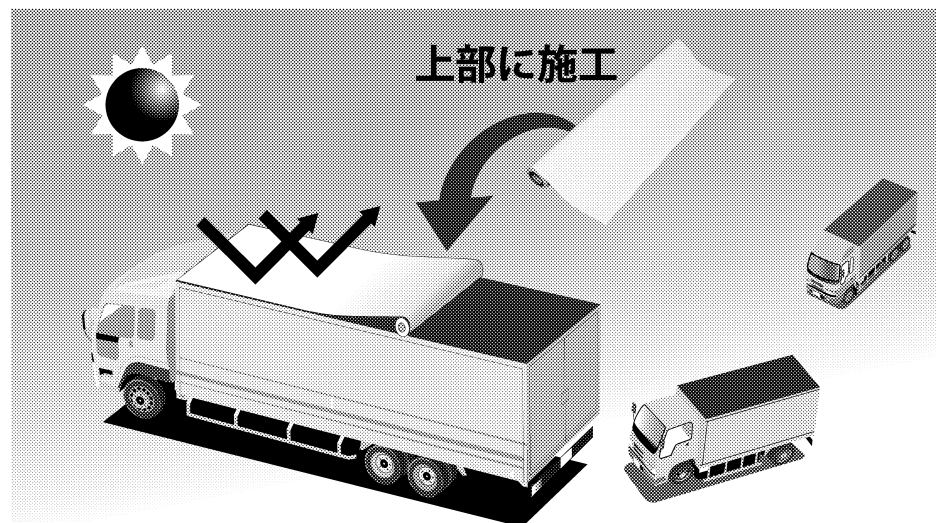
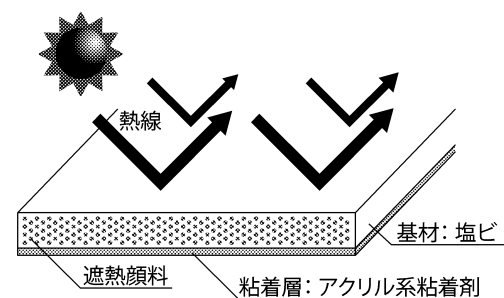
### CoolCal® 遮熱粘着フィルム

太陽光を反射し、温度上昇を防ぐ機能性フィルムです。トラックのルーフパネルに貼るだけで、遮熱効果が得られ荷物の品質管理および作業環境改善に貢献します。

庫内温度上昇を抑えたい食品配送車や検診車などの医療関係車

#### 遮熱イメージ

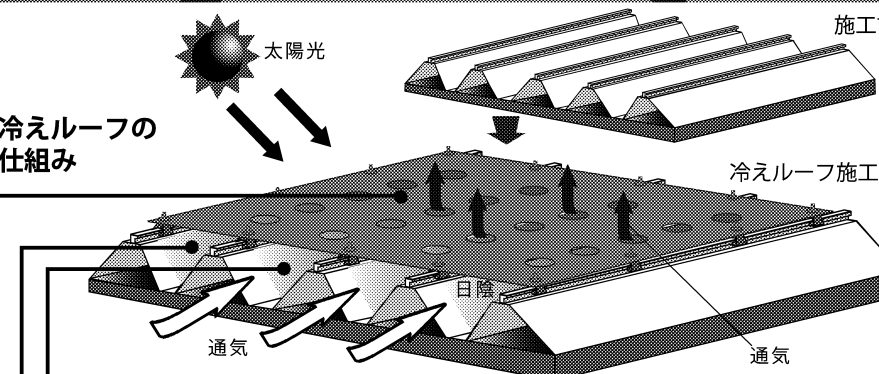
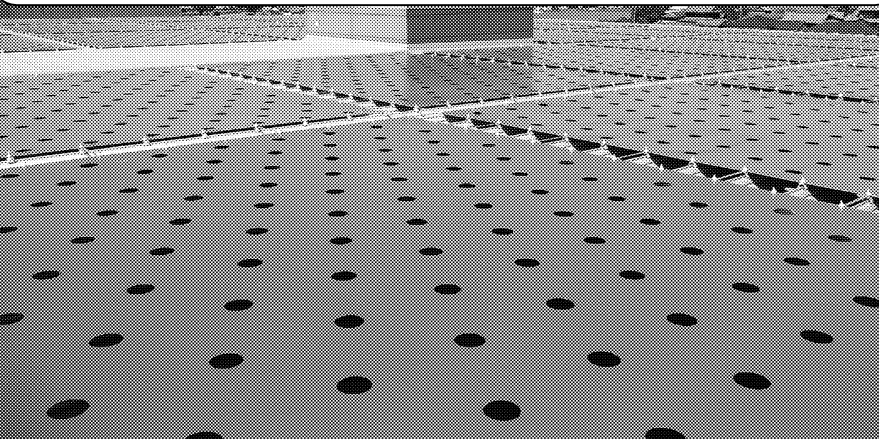
塩ビフィルムへ遮熱顔料を均一に混ぜ込むことにより、熱線を効率よく反射し、温度の上昇を防ぐ効果が得られます。



### 冷えルーフ® 屋上自然力応用遮熱シート

金属折板屋根に新設・既設を問わず施工が可能な屋根遮熱システムです。金属折板屋根の上に遮熱シート「冷えルーフ」を施工することで、屋根面の日射による温度上昇を抑制することができます。

- 太陽光を屋根の上でカット** 室温が下がることでエアコンの設定温度が上げられます。
- 長期保証** 年1回の無償定期メンテナンスを5年間実施します。
- 短期施工・低価格を実現** 施工は短期間で、価格も他システムより安価で提供できます。
- 雨音が大幅に低減** 冷えルーフが金属折板屋根をたたく雨音を緩和します。
- 屋根を保護して耐久性UP** 冷えルーフが紫外線をカットし、屋根の長寿命化に貢献します。

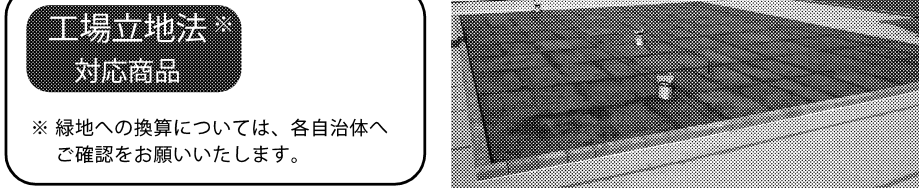
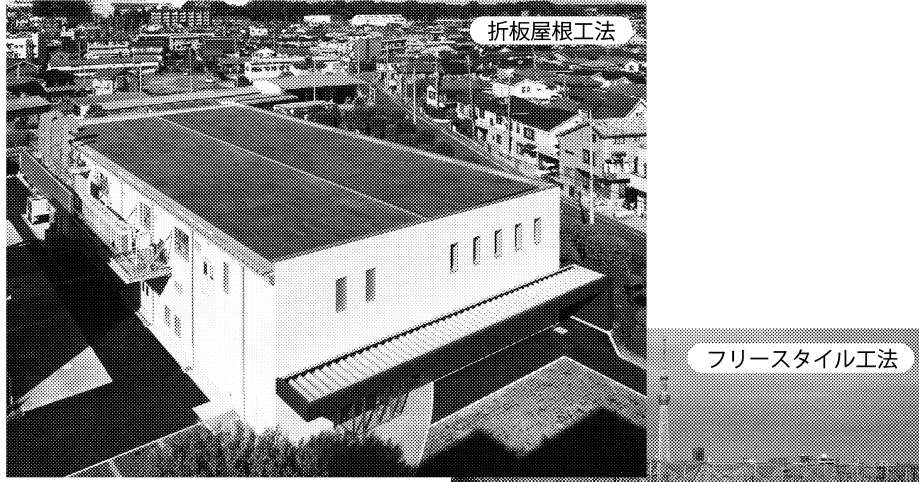


- 風力でのシートと折板屋根の間の空気層の熱ごもりを防ぎます** 空気層に風が通り抜けていくことでシート下の熱ごもりを防ぎ、冷えルーフの遮熱効果を高めます。
- 屋根に日陰をつくり、熱伝導率の低い空気層を利用します** シートと折板屋根の間に設けられた空気層が、太陽からの熱が屋根に伝わるのを抑えます。
- シートが雨音を抑制し、冬場は保温効果や結露緩和効果を発揮します** 折板屋根をたたく音が緩和されます。屋根面への放射冷却が抑えられることで結露緩和効果も発揮します。

### スターモスプロテクト KS

コケを使用した屋上緑化システムです。金属折板屋根工法とビル、マンション、工場等の屋上コンクリート面の施工に適したフリースタイル工法があります。

- 薄型軽量システム** コケ育成のための土壌を使わず育成シートによる独自の養生方法のため、より軽量化されています。
- 無灌水&ローメンテナンス** コケ植物は自重の20倍の水を保つことができ、保湿性があります。灌水、施肥、除草、刈込等のメンテナンスがほとんど不要です。
- 低コスト&エコノミー** 芝やセダム等の屋上緑化では、土の重みに耐える躯体構造が必要です。土壌の敷設、灌水設備の設置が不要で、施工が容易です。



日本製紙グループ 企画開発型商社 **桜井株式会社** 0120-813961

〒110-0008 東京都台東区池之端 1-2-18 MG 池之端ビル

http://www.sakurai.co.jp

営業拠点

本社(東京都台東区) 札幌営業所 仙台支店 名古屋支店 大阪支店 広島営業所 福岡支店

お問い合わせ カスタマーサービスセンター 受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)